

平成 30 年度 全日本 6 人制バレーボールクラブカップ選手権大会
北海道予選会 競技・審判上の確認

競技委員長 田 中 淳

審判委員長 佐 藤 真 理

1 競技規則について

- (1) 平成 30 年度公益財団法人日本バレーボール協会 6 人制競技規則及び競技要項により実施する。ネットの高さは男子 2 m 4 3 c m、女子は 2 m 2 4 c m とし、競技は全て 3 セットマッチで行う。今大会使用球は、男子ミカサ製・女子モルテン製を使用する。

2 チーム構成について

- (1) 1 チームは部長、監督、コーチ、マネージャー各 1 名（チームスタッフ）、選手 1 8 名以内とする。申込後の選手登録の変更は受け付けない。
- (2) 監督・コーチ・マネージャーのうち 1 名以上は、公益財団法人 日本体育協会公認スポーツ指導者制度に基づき、公認バレーボールコーチ、公認バレーボール上級コーチ、公認バレーボール指導員、公認バレーボール上級指導員のいずれかの資格を有する者であること。
- (3) 監督・コーチ・マネージャーの変更がある場合は、代表者会議終了後、チーム・スタッフ変更届（用紙）を提出する。（変更のない場合も提出願います。）
- (4) 各試合の役員・選手 1 4 名のエントリーは、試合ごとに構成メンバー表（用紙）に記載し、第 1 試合は開始時刻の 3 0 分前に、第 2 試合以降は、前の試合の第 1 セット終了後速やかに会場内本部競技担当者まで提出し確認を受ける。（必ず監督がサインをすること）また、試合が連続する場合は、試合終了後速やかに提出すること。

3 ベンチへの着席について

- (1) ベンチには有効にエントリーされた・監督・コーチ・マネージャー各 1 名、選手 1 4 名以内の計 1 7 名以内の着席を認める。
- (2) チームスタッフは直径 6 c m 程度の円台（色は自由）の役職マークを左胸部につけなければならない。
- (3) 試合前の練習および公式練習の際、構成メンバー以外の登録メンバーがボールキーパーとして参加することを認める。その際は、試合用ユニフォーム以外のチームで統一された服装を着用すること。

4 試合開始時刻について

- (1) 第 1 試合の試合開始予定時刻は 1 0 時 0 0 分とし、その 1 1 分前にプロトコールを開始する。2 試合目以降は、前試合終了後、2 0 分後にプロトコールを開始する。
- (2) 公式練習前のウォーミングアップでネット・ボールを使うことを認める。ただし、隣接するコートにボールが入らないようにボールキーパーを配置すること。
- (3) 試合開始時刻を 2 0 分経過してもチームがゲームコートに現れない場合はその試合を没収する。なお次の試合の呼び出しは行わない。また、試合の進行状況によってはコートを変更して行うことがあるので他のコートの試合進行にも注意すること。
- (4) プロトコール開始 1 0 分前より、第 1 試合の当該チームにコートを優先的に使用させること。

5 コートワイピングについて

- (1) コート内の選手が、ラリー終了からサービス許可までの間におこなうこと。ただし、構成メンバー以外の登録されたメンバーから最大2名クイックモップパーとしてベンチの両側に配置することを認める。1名の場合は監督席と記録席の間に配置し、コートワイピングを迅速に行う。服装は、試合用ユニフォーム以外の統一された服装とする。クイックモップパーはモッピングが目的なので応援などはできない。
- (2) タイムアウト中、およびセット間のコートワイピングはクイックモップパーが行い、クイックモップパーがいない場合は競技者あるいはベンチスタッフがモップを使って行っても良い。

6 リベロについて

- (1) リベロは、他の選手と対照的な色のユニフォームを着用すること。
- (2) リベロのエントリーについては、以下のとおりである。
 - ① エントリーした選手12名以内の場合、リベロは0名、1名、2名のいずれでもよい。
 - ② エントリーした選手13名または14名の場合、リベロは2名いなければならない。
- (3) リベロはチームキャプテンにもゲームキャプテンにもなることはできない。
- (4) 各セットの開始前には、リベロは副審によるスターティングラインアップの確認が終わり、スターティングプレイヤーとのリプレースメントが許されるまでコートに入ることはできない。
- (5) サービスのホイッスルの後に行われるリプレースメントは、サービスヒットの前であれば拒否されないが、そのラリー終了後に口頭でゲームキャプテンに注意される。同一試合内にリプレースメントの遅れが再発した場合は、プレーは直ちに止められ、遅延行為に対する罰則が適用される。しかし、その時のリプレースメントは、罰則の段階に関係なく認められる。
- (6) ラリーがノーカウントとなった時は、リベロのリプレースメントはできない。
- (7) リベロが1人しかいなくなった場合や、1人しか登録されていない場合では、そのリベロがプレーできなくなったときやプレーできなくなったと宣言されたときには、監督（監督不在の場合はゲームキャプテン）はその時点でコート上にいない他の選手（リベロと入れ替わった選手を除く）を、試合終了までリベロとして再指名することができる。

7 ユニフォームについて（シューズ・サポーターを含む）

- (1) 競技規則どおりの選手番号をつけた統一されたユニフォームを着用すること。JVAが公認するメーカー製以外のユニフォームを着用する場合にはそのロゴを露出しないようにすること。露出する場合はその企業ロゴをマスキングする。
- (2) パワーパンツ、アンダーシャツなど（サポーター以外）を着用する場合はユニフォームからはみ出してはいけない。ただし、プレー中に見えてしまうことは許される。
- (3) ソックスについては、くるぶしが完全に隠れるものを着用しなければならない。くるぶしが見えるような短いソックスを履いてのゲーム参加は禁止とする。ハイカットシューズの場合は、シューズから出るソックスを着用すること。色、デザインは、チームで統一されているものが望ましい。

8 チーム役員について

- (1) チーム役員は、ジャケットを着用するか、統一されたトレーニングウェアを着用しなければならない。
- (2) 監督がジャケットを着て、コーチ・マネージャーがトレーニングウェアを着てもよい。
- (3) 選手と異なるトレーニングウェアを着用する場合は、チーム役員で統一されたものを着用する。ただし、中学校・高校チームの場合は、監督・コーチは統一された服装で、マネージャーはチームで統一された服装でベンチに着席のこと。

9 選手交代とタイムアウトについて

- (1) 選手交代は、選手交代ゾーン内で行わなければならない。選手交代の要求とは、中断の間に、プレーする準備のできた交代選手が選手交代ゾーンに入ることをいう。負傷による場合やセット開始前での選手交代を除いて、監督は選手交代のハンドシグナルを示す必要はない。チームが2組以上の選手交代を同時にしようとするときは、同一の要求とみなせるように、すべての交代選手が同時に選手交代ゾーンに入らなければならない。
- (2) ラリー中に選手が負傷し、ラリーが中断され、ノーカウントとなった場合、その選手の選手交代は認められるが、タイムアウトは認められない。

10 その他

- (1) ベンチには飲料、救急用具などの必需品以外を持ち込まないこと。ボールケースはベンチには置かず、コート の最も端に置くこと。
- (2) 会場の開館は、6月24日(日)8時30分とする。開館後、コート設営が終了するまではコート内に入ること はできない。また設営終了後は、各チーム譲り合って使用のこと。
- (3) 競技中に、プレーしていない選手はウォームアップエリアでボールを使わずにウォームアップすることがで きる。また、タイムアウト中には、そのコートのフリーゾーンでウォームアップできる。なお、選手はセット 間にもフリーゾーンでボールを使ってウォームアップできる。
- (4) 各試合の補助役員6名(ラインジャッジ、点示)について
対戦表に記載されている審判補助役員表に従って行ってください。
- (5) コートワイピング用タオルの交換用を持参のこと。
- (6) 試合前の待機チームは、前試合終了の挨拶が終了するまでコートへの入場を禁じる。